

避難情報等の判断・伝達マニュアル

令和8年6月

岩 出 市

第1編 水害

1	対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所等	P1
2	避難すべき区域	P3
3	避難情報等の発令の判断基準	P4
4	総合的な判断方法	P8
5	判断に必要な気象情報等の種別及び活用方法	P10
6	避難情報等の伝達方法	P11
7	解除の方法	P12

第2編 土砂災害

1	対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所等	P13
2	避難すべき区域	P14
3	避難情報等の発令の判断基準	P15
4	総合的な判断方法	P17
5	判断に必要な気象情報等の種別及び活用方法	P19
6	避難情報等の伝達方法	P20
7	解除の方法	P21

	避難情報等の発令タイミング判定表	P22
--	------------------	-----

	【参考】岩出市避難所一覧	P38
--	--------------	-----

第1編 水害

1 対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所等

(1) 紀の川

①警戒すべき区間

- ・右岸 岩出市中島～岡田
- ・左岸 岩出市船戸、山崎

※岩出市防災マニュアル参照

②紀の川の特性

- ・上流地域(奈良県大台ヶ原)に降った雨が約7.5時間から12時間後に到達
- ・大滝ダムによる洪水調節により1,200 m³/sの放流量時に、大滝ダム下流域で戦後最大の雨量が発生した場合の想定では、船戸水位観測所で約6mの水位

③施設の整備状況等

- ・岩出市内においては、計画堤防余裕高1.5m以上を確保している。

(2) 紀の川水系(木積川、根来川、相谷川、住吉川、古戸川)

①警戒すべき区間

- ・木積川 東坂本小川製作所～市道西国分5号線
- ・根来川 根来新橋～山田川合流上流360m
- ・相谷川 原川合流点～住吉川合流点
- ・住吉川 住吉橋～たかの橋
- ・古戸川 紀の川市界～春日川合流点

②特性

- ・木積川 春日川に合流し、紀の川へ
- ・根来川 山田川と合流し、紀の川へ
- ・相谷川 住吉川に合流
- ・住吉川 中小河川と合流し、紀の川へ
- ・古戸川 春日川に合流

③特に注意する区間等

- ・木積川 堤防高
- ・根来川 堤防高
- ・相谷川 堤防高

中黒の越流堤を越水した場合、市道東山下中島線と市道吉田団地線の交差部が浸水する可能性がある。

また、同時に六箇井用水路も越水するケースが多く、その場合は、県道小豆島岩出線と市道東山下中島線の交差部が浸水する。

- ・住吉川 堤防高
- ・古戸川 堤防高

春日川の水位が上昇し、内水位より高くなった時、古戸川樋門が閉鎖され、かつ、降雨が続き、古戸川堤防高を越水した場合、溝川6番地自治会周辺が浸水する。

(3) 内水氾濫等

① 警戒すべき区域

- ・ 溝川地区 (溝川6番地自治会)
- ・ 船山地区 (山崎北自治会、ハーモニータウン船戸)
- ・ 藤崎井用水路系 (高塚地区、清水地区)
- ・ 六箇井用水路系 (吉田地区)
- ・ その他用排水路系 (岡田地区、溝川地区、西野地区、根来地区、川尻地区、中迫地区)

② 特性

- ・ 紀の川の水位が上昇し、地区内の排水ができなくなった場合、内水が上昇
- ・ 用水路から越水した水による浸水

③ 特に注意すべき区域等

- ・ 船山地区の一部

2 避難すべき区域

(1) 紀の川破堤・越水氾濫(※岩出市防災マニュアル参照)

想定浸水深	対象区域	災害の様相	備考
0.5m未満の区域	岡田、溝川、大町、高塚、清水、宮、西野、中黒、吉田、中島、金屋、畑毛、中迫の一部	床下浸水	吉田団地公園
0.5m～1.0m未満の区域	岡田、溝川、大町、高塚、清水、宮、西野、中黒、吉田、中島、金屋、畑毛、中迫の一部	床上浸水	J R岩出駅 駅前ライブラリー
1.0m～2.0m未満の区域	岡田、溝川、高塚、清水、宮、西野、中黒、中島、吉田、金屋、畑毛、中迫の一部	家屋の1階天井まで浸水	岩出市役所(本庁舎)、岩出地区公民館、岩出地区コミュニティセンター、岡田集会所
2.0m～5.0m未満の区域	岡田、溝川、高塚、清水、宮、西野、中黒、中島、吉田、金屋、畑毛の一部	家屋の2階まで浸水	岩出市役所(南庁舎)、岩出市立体育館、岩出小学校、岩出保育所、中島グリーンタウン南公園、さぎのせ公園
5.0m以上の区域	岡田、溝川、高塚、宮、西野、中島、吉田の一部	2階建ての家屋が水没	

(2) 紀の川水系(木積川、根来川、相谷川、住吉川、古戸川)

岩出市内の紀の川水系の河川については、岩出町誌によると昭和10年(1935年)6月29日から30日にかけての豪雨により、根来川沿線が浸水したとの記録が残っているが、それ以降の近代の河川改修により、破堤、越水の記録はない状況であった。しかし、平成23年(2011年)9月2日から3日にかけての台風12号の影響により、古戸川が越水し、溝川地区において、14戸が約50cmの床下浸水の被害にあった。

○紀の川水系古戸川越水氾濫

想定浸水深	対象区域	災害の様相	備考
0.5m未満の区域	岡田、溝川の一部	床下浸水	

(3) 内水氾濫等

平成25年(2013年)9月15日から16日にかけての台風18号の豪雨により、船山地区の一部において最大浸水約1m35cmを記録し、床上浸水12戸、床下浸水39戸の被害にあった。

想定浸水深	対象区域	災害の様相	備考
0.5m未満の区域	山崎の一部	床下浸水	
0.5m～1.0m未満の区域	山崎の一部	床上浸水	
1.0m～2.0m未満の区域	山崎の一部	家屋の1階天井まで浸水	

3 避難情報等の発令の判断基準

(1) 判断基準

岩出市内において避難情報等の発令基準となる河川は、次のとおりである。

なお、発令にあたっては想定外の事象が発生する可能性を加味しつつ、関係機関と連携し、特に紀の川上流の状況及び水位に留意するとともに、今後の降雨量の予想等に関し、総合的かつ広域的な情報収集に努め、住民の生命と財産を守ることを第一義に判断を行うものとする。

◇紀の川破堤、越水氾濫（洪水予報河川）

河川区分	洪水予報河川	
河川の性格	洪水により相当規模以上の損害が発生する河川で、洪水予測が可能な河川	
河川名	紀の川	
水位観測所	船戸水位観測所	
対象地区	堤防近傍地区：岡田(A)、溝川(A)、高塚(B)、清水(B)、宮(B)、西野(B)、中島(B)の一部 その他の地区：大町、高瀬、畑毛、中黒、吉田の一部	
判断の タイミング	日 中	夜 間
高齢者等避難 【警戒レベル3】	<ul style="list-style-type: none"> ① 1時間後に避難判断水位(6.80m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ② 紀の川にレベル3氾濫警報(警戒レベル3相当情報[洪水])が発表された場合 ③ 紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「避難判断水位の超過に相当(赤)」になった場合 ④ 堤防に軽微な漏水・侵食等が発見された場合 	<ul style="list-style-type: none"> ① 氾濫注意水位(5.00m)を超過し、3時間後に避難判断水位(6.80m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ② 紀の川にレベル3氾濫警報(警戒レベル3相当情報[洪水])が発表された場合 ③ 紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「避難判断水位の超過に相当(赤)」になった場合 ④ 時系列情報において、夜間から明け方に大雨の「警戒」以上(警戒レベル3相当以上の基準の超過)が予想され、現在の水位情報及び長期的な雨量予測(気象庁HP、気象解説情報、気象台ホットライン)を基に氾濫危険水位(レベル4水位)を超過すると見込まれる場合 ⑤ 堤防に軽微な漏水・侵食等が発見された場合
避難指示 【警戒レベル4】	<ul style="list-style-type: none"> ① 避難判断水位(6.80m)を超過し、1時間後には氾濫危険水位(7.00m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ② 紀の川にレベル4氾濫危険警報(警戒レベル4相当情報[洪水])が発表された場合 ③ 氾濫発生水位(レベル5水位)である9.52mに到達することが予想される場合 ④ 紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫危険水位の超過に相当(紫)」になった場合 ⑤ 堤防に異常な漏水・侵食等が発見された場合 	<ul style="list-style-type: none"> ① 避難判断水位(6.80m)を超過し、3時間後には氾濫危険水位(7.00m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ② 紀の川にレベル4氾濫危険警報(警戒レベル4相当情報[洪水])が発表されたとき。 ③ 氾濫発生水位(レベル5水位)である9.52mに到達することが予想される場合 ④ 紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫危険水位の超過に相当(紫)」になった場合 ⑤ 時系列情報において、夜間から明け方に大雨の「危険」(警戒レベル4相当以上の基準の超過)が予想され、現在の水位情報及び長期的な雨量予測(気象庁HP、気象解説情報、気象台ホットライン、常時オンライン気象解説)を基に「氾濫」が発生すると見込まれる場合 ⑥ 堤防に異常な漏水・侵食等が発見された場合
緊急安全確保 【警戒レベル5】	<ul style="list-style-type: none"> ① 氾濫発生水位(レベル5水位)である9.52mに到達した場合。若しくは、レベル5氾濫特別警報(警戒レベル5相当情報[洪水])が発表された場合 ② 紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫している可能性(黒)」になった場合 ③ 堤防に異常な漏水・侵食の進行や亀裂・すべり等により決壊のおそれが高まった場合 ④ 樋門・水門等の施設の機能支障が発見された場合や排水機場の運転を停止せざるをえない場合(発令対象区域を限定する) ⑤ 堤防の決壊や堤防からの越水、掘込河川からの溢水が発生した場合(レベル5氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報[洪水])、水防団からの報告等により把握できた場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 氾濫発生水位(レベル5水位)である9.52mに到達した場合。若しくは、レベル5氾濫特別警報(警戒レベル5相当情報[洪水])が発表された場合 ② 紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫している可能性(黒)」になった場合 ③ 堤防に異常な漏水・侵食の進行や亀裂・すべり等により決壊のおそれが高まった場合 ④ 樋門・水門等の施設の機能支障が発見された場合や排水機場の運転を停止せざるをえない場合(発令対象区域を限定する) ⑤ 堤防の決壊や堤防からの越水、掘込河川からの溢水が発生した場合(レベル5氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報[洪水])、水防団からの報告等により把握できた場合)

(A) 地区の一部…主に岩出頭首工以東の地区で、内水氾濫とともに、越水等の可能性が高く、2階程度まで浸水する可能性が高いため、氾濫危険水位に達し、今後も水位の上昇が見込まれる場合、最も早く避難情報等を発令する。

(B) 地区の一部…主に岩出頭首工以西の地区で、越水等があった場合、1階程度まで浸水するため、氾濫危険水位に達し、今後も水位の上昇が見込まれる場合、危険性を考慮して避難情報等を発令する。

◇紀の川水系古戸川越水

河川区分	その他河川	
河川の性格	リアルタイムの水位観測が可能な中小河川	
河川名	古戸川	
対象地区	岡田、溝川の一部	
判断のタイミング	日中	夜間
高齢者等避難 【警戒レベル3】	<ul style="list-style-type: none"> ①紀の川の水位が5.00mを超え、かつ、古戸川樋門が閉鎖され、水位が2.20mに達し、さらに流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川流域の雨量が今後1～3時間後で70mm/h超となっている場合 ③堤防に軽微な漏水・侵食等が発見された場合 ④レベル3大雨警報が発表され、短時間の気象予測や河川等の巡視の報告などから、避難行動要支援者の避難に必要な時間の経過後に浸水被害が発生する危険があると判断される場合 	<ul style="list-style-type: none"> ①3時間後に紀の川の水位が5.00mを超え、かつ、古戸川樋門が閉鎖され、水位が2.20mに達し、さらに流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川流域の雨量が今後1～3時間後で70mm/h超となっている場合 ③堤防に軽微な漏水・侵食等が発見された場合 ④レベル3大雨警報が発表され、短時間の気象予測や河川等の巡視の報告などから、避難行動要支援者の避難に必要な時間の経過後に浸水被害が発生する危険があると判断される場合
避難指示 【警戒レベル4】	<ul style="list-style-type: none"> ①紀の川の水位が5.00mを超え、かつ、古戸川樋門が閉鎖され、水位が2.70mに達し、さらに流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川流域の雨量が今後1～3時間後で100mm/h超となっている場合 ③堤防に異常な漏水・侵食等が発見された場合 ④レベル4大雨危険警報が発表され、向こう短時間の気象予測や河川等の巡視の報告などから、住民の避難に必要な時間の経過後に浸水被害が発生する危険があると判断される場合 	<ul style="list-style-type: none"> ①3時間後に紀の川の水位が5.00mを超え、かつ、古戸川樋門が閉鎖され、水位が2.70mに達し、さらに流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川流域の雨量が今後1～3時間後で100mm/h超となっている場合 ③堤防に異常な漏水・侵食等が発見された場合 ④レベル4大雨危険警報が発表され、向こう短時間の気象予測や河川等の巡視の報告などから、住民の避難に必要な時間の経過後に浸水被害が発生する危険があると判断される場合
緊急安全確保 【警戒レベル5】	<ul style="list-style-type: none"> ①水位が堤防高または背後地盤高に到達した場合 ②堤防に異常な漏水・侵食の進行や亀裂・すべりの発生等により決壊のおそれが高まった場合 ③樋門・水門等の施設の機能支障が発見された場合や排水機場の運転を停止せざるをえない場合 ④堤防の決壊や堤防からの越水、掘込河川からの溢水を確認した場合(水防団等からの報告により把握できた場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ①水位が堤防高または背後地盤高に到達した場合 ②堤防に異常な漏水・侵食の進行や亀裂・すべりの発生等により決壊のおそれが高まった場合 ③樋門・水門等の施設の機能支障が発見された場合や排水機場の運転を停止せざるをえない場合 ④堤防の決壊や堤防からの越水、掘込河川からの溢水を確認した場合(水防団等からの報告により把握できた場合)

◇内水、その他の河川等越水、浸水

区分	内水、その他河川等	
対象地区	岡田、溝川、高塚、清水、西野、山崎、吉田、根来、川尻、中迫の一部外	
判断の タイミング	日中	夜間
高齢者等避難 【警戒レベル3】	①山崎地区の一部では、紀の川の水位が 4.00m を超え、かつ、山崎樋門が閉鎖され、さらに流域雨量及び市内雨量が継続あるいは増加し、山崎地区内の水位が 3.00m を超え、さらなる水位の上昇が予想される場合 ②本市において 1～3 時間後の降雨が、1 時間で 40 mm、3 時間で 120 mm の降雨が予想される場合 ③近隣の地区で床下浸水や道路冠水が発生し、かつ、今後の降雨予測等により床下浸水などが発生する可能性が高い場合	①山崎地区の一部では、紀の川の水位が 4.00m を超え、かつ、山崎樋門が閉鎖され、さらに流域雨量及び市内雨量が継続あるいは増加し、山崎地区内の水位が 3.00m を超え、さらなる水位の上昇が予想される場合 ②本市において 1～3 時間後の降雨が、1 時間で 40 mm、3 時間で 120 mm の降雨が予想される場合 ③近隣の地区で床下浸水や道路冠水が発生し、かつ、今後の降雨予測等により床下浸水などが発生する可能性が高い場合 ※降雨状況等を総合的に判断し、日中より早いタイミングで発令する。
避難指示 【警戒レベル4】	①山崎地区の一部では、紀の川の水位が 4.00m を超え、かつ、山崎樋門が閉鎖され、さらに流域雨量及び市内雨量が継続あるいは増加し、山崎地区内の水位が 3.50m を超え、さらなる水位の上昇が予想される場合 ②1～3 時間後に警報雨量基準の 1 時間雨量に 10 mm を加算した値又は 3 時間雨量に 30 mm を加算した値に達する場合 ③気象防災速報（記録的短時間大雨）(110 mm/h) が発表され、その後も降雨が見込まれる場合 ④近隣の地区で床下浸水や道路冠水が発生し、今後の降雨予測等により、さらなる被害の拡大が予想される場合	①山崎地区の一部では、紀の川の水位が 4.00m を超え、かつ、山崎樋門が閉鎖され、さらに流域雨量及び市内雨量が継続あるいは増加し、山崎地区内の水位が 3.50m を超え、さらなる水位の上昇が予想される場合 ②1～3 時間後に警報雨量基準の 1 時間雨量に 10 mm を加算した値又は 3 時間雨量に 30 mm を加算した値に達する場合 ③気象防災速報（記録的短時間大雨）(110 mm/h) が発表され、その後も降雨が見込まれる場合 ④累積雨量が 500mm を超過し、さらに 1～3 時間後の雨量が 40mm/h 以上である場合 ⑤近隣の地区で床下浸水や道路冠水が発生し、今後の降雨予測等により、さらなる被害の拡大が予想される場合 ※降雨状況等を総合的に判断し、日中より早いタイミングで発令する。
緊急安全確保 【警戒レベル5】	①レベル5 大雨特別警報（警戒レベル5 相当情報）が発表され、洪水キキクルで「災害切迫（黒）」（警戒レベル5 相当情報）が出現した場合 ②近隣の地区で床上浸水が発生した場合 ③浸水被害を確認した場合	①レベル5 大雨特別警報（警戒レベル5 相当情報）が発表され、洪水キキクルで「災害切迫（黒）」（警戒レベル5 相当情報）が出現した場合 ②近隣の地区で床上浸水が発生した場合 ③浸水被害を確認した場合

注1) 累積雨量とは、警報が発表され解除されるまでの現象に係る降り始めからの雨量とする。

(2) 避難情報等の発令に関する基本的な考え方

- ア 被害が発生する前の段階に避難情報を発令できるよう、気象情報等を分析した予測ベースの発令を実施すること。
- イ 予測ベースの発令により空振りをおそれない避難情報等の発令を実施すること。
- ウ 危険の高まりが夜間になるため、避難が夜間になりそうな場合には、予測ベースで明るいうちに避難情報等の発令を実施すること。特に、台風や前線等が夜間から明け方に接近・通過して、発令が必要となる強い降雨が予想される等、暴風や降雨等により夜間避難することが困難となることが予想される場合は、明るいうちに避難情報等の発令を実施すること。
- エ 夜間になる前に避難情報等を発令するための具体的な事項
 - 少なくとも 16 時頃までに今後の状況を確認し、夜間に避難情報等の発令する必要がある場合に備え、事前に避難情報等を発令すること。

(3) 発令にあたっての留意点

- ア 特別警報が発表された場合には、警報の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいと考えられることから、市内における降雨状況や現地の状況等を総合的に判断し、状況によっては高齢者等避難、避難指示の発令を視野に入

れた対応を行うこと。

また、暴風の中では避難できなくなるおそれがあるので、暴風警報や特に暴風特別警報が発表された場合には、判断基準に該当しない場合でも避難情報等の発令を前倒しにするなど検討を行うこと。

イ 自然現象のため、不測の事態等も想定されることから、避難行動は、計画された避難所等に避難することが必ずしも適切ではなく、事態の切迫した状況等に応じて、自宅や隣接建物の可能な限り上層階に避難すること(緊急安全確保)もありうること。

ウ 判断基準に基づき、避難情報等を発令するが、自然現象を対象とするため、想定以上又は想定外の事態も発生しうるので、総合的な判断を行うものとする。

4 総合的な判断方法

(1) 紀の川

ア 判断方法

洪水予報河川である紀の川が破堤または越水した場合、大規模な被害が想定されるため、河川の水位情報(避難判断水位、氾濫危険水位等)だけにとられるのではなく、河川流域の気象予報や河川管理者及び上流市町村からの情報等を総合的に判断するとともに、避難状況(避難路の安全性等)を加味し、避難情報等を発令する。ただし緊急を要する場合は、避難路等の安全性を考慮せずに発令・情報伝達を実施する。

また、夜間に高齢者等避難以上の基準に該当するおそれのある場合には、できうる限り日没までに高齢者等避難(時系列情報において、夜間から明け方に大雨の「危険」(警戒レベル4相当以上の基準の超過)が予想され、現在の水位情報及び長期的な雨量予測を基に「氾濫」が発生すると見込まれる場合は、避難指示の発令も視野に入れる。)を発令する。

なお、急激な水位の上昇や暴風、夜間、道路等の冠水等を総合的に考慮し、避難行動等が危険な状態になったときは、自宅内等の高所への避難(災害対策基本法第60条第3項の規定による屋内での待避等の安全確保措置を含む。)を指示する。ただし、堤防の近傍は流体力が強いことが想定されることから、鉄筋コンクリート造りで2階建て以上の建物でない場合の垂直避難等の指示は最小限に留める。

イ 地区別の避難路等の状況

紀の川が越水氾濫するような状況の場合は、一時避難所(風水害時避難所)ではなく、避難施設(中長期間避難所)への避難誘導を行う。

地区名	避難先	道路の浸水等の可能性
岡田(A)、溝川(A)、大町、高塚(B)、清水(B)の一部	那賀高等学校(☆☆☆)	—
宮(B)、西野(B)の一部	総合体育館(☆☆☆)	—
畑毛、中黒、中島(B)	山崎小学校(☆☆☆)	県道小豆島岩出線が浸水する可能性がある。

(2) 紀の川水系古戸川

ア 判断方法

河川の水位情報(避難判断水位、氾濫危険水位等)だけにとられるのではなく、河川流域の気象予報や河川管理者からの情報等を総合的に判断する。

また、夜間に高齢者等避難以上の基準に該当するおそれのある場合には、できうる限り日没までに高齢者等避難(時系列情報において、夜間から明け方に大雨の「危険」(警戒レベル4相当以上の基準の超過)が予想され、現在までの雨量(多いところ)及び12時間先までの降水予測から当該河川で過去に氾濫が発生したときの雨量(最大値)に近づく可能性がある場合は、避難指示の発令も視野に入れる。)を発令する。

なお、急激な水位の上昇が見込まれ、避難路等が危険な状態になったときは、自宅内等の高所への避難(災害対策基本法第60条第3項の規定による屋内での待避等の安全確保措置を含む。)を指示する。

イ 地区別の避難路等の状況

古戸川が越水氾濫するような状況の場合は、一時避難所(風水害時避難所)への避難誘導を行う。

地区名	避難先	道路の浸水等の可能性
岡田、溝川の一部	岩出地区公民館(☆☆)	—
	那賀高等学校(☆☆☆) (紀の川の越水氾濫の可能性もある場合)	—

(3)内水、その他の河川等越水、浸水

ア 判断方法

内水、その他の河川等については、特に紀の川の水位に留意するとともに、気象予報、避難の必要性や避難行動を行う状況(暴風、夜間等)などを総合的に判断して、高齢者等避難を発令する。

また、夜間に高齢者等避難以上の基準に該当するおそれのある場合には、できうる限り日没までに高齢者等避難(時系列情報において、夜間から明け方に大雨の「危険」(警戒レベル4相当以上の基準の超過)が予想された状況で、当該地区で過去に浸水被害が発生したときの雨量(最大値)に近づく可能性がある場合は、避難指示の発令も視野に入れる。)を発令する。

なお、急激な水位の上昇が見込まれ、避難路等が危険な状態になったときは、自宅内等の高所への避難(災害対策基本法第60条第3項の規定による屋内での待避等の安全確保措置を含む。)を指示する。

イ 地区別の避難路等の状況

床下、床上浸水などが発生するような状況の場合は、一時避難所(風水害時避難所)への避難誘導を行う。

また、用水路等からの越水により、交差点等が浸水した場合は、迂回誘導を行う。

地区名	避難先	道路の浸水等の可能性
岡田、溝川、高塚、清水、西野の一部	岩出地区公民館(☆☆)	—
	那賀高等学校(☆☆☆) (紀の川の越水氾濫の可能性もある場合)	
高塚、清水、西野の一部	岩出地区コミュニティセンター(☆☆)	
	那賀高等学校(☆☆☆)、総合体育館(☆☆☆) (紀の川の越水氾濫の可能性もある場合)	
山崎の一部	船山地区公民館(☆☆☆)	
吉田の一部	サンホール(☆☆☆)	地区内で道路の浸水の可能性がある。
根来、川尻の一部	根来地区公民館(☆☆☆)	—
中迫の一部	上岩出地区公民館(☆☆☆)	
その他の地区	最寄りの一時避難所(参考を参照)	

5 判断に必要な気象情報等の種別及び活用方法

避難情報等を発令するにあたって必要となる気象情報等の種別及び活用方法については、次表のとおりである。

収集先		入手する情報の種類	活用方法
総合防災情報システム	総合防災情報システム 一斉指令受令端末	【風水害】 気象警報・注意報、気象解説情報、気象防災速報、水位周知河川の情報	気象警報・注意報の発表状況 今後の降雨の見込みを把握 現在までの降雨量を把握 地域的に気象情報を細かく把握 河川水位の状況の把握 記録的短時間大雨の情報を収集 (110 mm/h)
		【実況値】 水位情報、ダム放流量、雨量情報	水位観測所ごとの上昇・下降傾向や河川水位の確認
気象庁	https://www.jma.go.jp/jma/index.html	【風水害】 気象警報・注意報、気象情報、雨雲の動き、解析雨量、今後の雨、キキクル(危険度分布)、流域雨量指数、指定河川洪水予報、台風情報、気象衛星画像、天気図、風向・風速 等	今後の降雨の見込みを把握 現在までの降雨量を把握 台風の今後の予報を把握 地域的に気象情報を細かく把握 流域雨量指数の把握
		【その他】 気温 等	その他の気象状況を把握
		【天気予報等】 天気予報、週間天気予報、早期天候情報、天気分布予報、地域時系列予報、早期注意情報(警報級の可能性) 等	その他の気象状況を把握
和歌山地方気象台	災害時ホットライン 常時オンライン気象解説	今後の見込み情報等(降雨量等)	今後の降雨の見込みを把握
国土交通省	http://www.river.go.jp	川の防災情報 (河川水位、雨量、ダム放流情報、水害リスクライン 等)	水位の状況(水位、上昇・下降傾向等)を把握 等
水害リスクライン	https://frlg.river.go.jp	200m毎の現況水位の推定値 (国管理河川の洪水予報河川)	水位の状況を把握 等
和歌山県河川／雨量防災情報	http://kasensabo02.pref.wakayama.lg.jp/	観測情報(雨量・水位観測所情報・ダム情報)、レーダ、警報／注意報、洪水予報、河川監視カメラ 等	現在までの降雨量を把握 河川水位の状況の把握
和歌山県防災気象情報	https://www.micosweb.jp/web/wakayama08/	【風水害】 警報・注意報、台風情報、降雨予測、予報メッシュ、ポイント予測、アメダス、全国アメダス	今後の降雨の見込みを把握 台風の今後の予報を把握 地域的に気象情報を細かく把握
		【天気予報等】 地上実況、気象衛星画像、天気図、週間天気図、天気予報、文書情報	今後の降雨状況を把握 その他気象情報を把握

その他の情報

河川名等	情報収集方法
紀の川水系古戸川樋門	現地情報(水位等)を水防団員(消防団員)、職員等で収集する。
紀の川水系相谷川	越流堤からの越水情報を職員等で収集する。
六箇井用水路	現地情報(水位等)を職員等で収集する。
山崎樋門	現地情報(水位等)を水防団員(消防団員)、職員等で収集する。

6 避難情報等の伝達方法

避難情報等の伝達は、災害の規模や種類などで伝達すべき地域や時間帯等を考慮し、防災行政無線(市内放送)等で市民への伝達を行うが、防災行政無線以外での伝達方法として、メール配信サービス、緊急速報(エリア)メール、防災行政無線電話応答サービス、市ウェブサイト、地デジデータ放送、広報車での広報及び報道機関への放送要請などを行う。

また、伝達には、状況に応じ次の伝達文例を用いることとする。

【警戒レベル3】〈高齢者等避難〉

こちらは、(防災)岩出市(災害対策本部)です。

〇〇川の水位が上昇し、氾濫が発生するおそれがあるため、「警戒レベル3 高齢者等避難」を発令しました。

対象地域は〇〇地区(、〇△地区、〇×地区及び△×地区)です。

川沿いで、浸水の危険性のある地域の、高齢の方や、避難に時間がかかる方は、次の避難所をはじめ、安全が確保できる場所へ、避難を始めてください。

それ以外の方も、避難の準備を整えるなどの、災害に備える行動をお願いします。

開設している避難場所は、次のとおりです。

〇〇地区公民館・・・

【警戒レベル4】〈避難指示〉

こちらは、(防災)岩出市(災害対策本部)です。

〇〇川の水位が上昇し、氾濫する危険があるため、「警戒レベル4 避難指示」を発令しました。

対象地域は〇〇地区(、〇△地区、〇×地区及び△×地区)です。

川沿いで、浸水の危険性のある地域の方は、全員、次の避難所をはじめ、安全が確保できる場所に、至急、避難してください。

また、逃げ遅れた場合は、自宅の2階や近くの建物の高層階などの、安全が確保できる場所に避難してください。

開設している避難場所は、次のとおりです。

〇〇地区公民館・・・

【警戒レベル5】〈緊急安全確保〉

こちらは、(防災)岩出市(災害対策本部)です！

〇〇川の水位が上昇し、〇〇地区付近で氾濫が発生した可能性があるため、「警戒レベル5 緊急安全確保」を発令しました！

対象地域は〇〇地区(、〇△地区、〇×地区及び△×地区)です！

命の危険が迫っています！

川沿いで、浸水の危険性のある地域の方は、自宅や付近の建物で、少しでも浸水しにくい場所に移動するなど、速やかに、身の安全を確保してください！

〈避難情報等解除〉

こちらは、(防災)岩出市(災害対策本部)です。

〇〇地区(、〇△地区、〇×地区及び△×地区)に対して発令しておりました(高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保)は解除しました。

その他

※合成音声でない市内放送及び広報車の場合

「避難指示」「緊急安全確保」の伝達を行う際は、切迫感を出すために、多少早口で放送する。

7 解除の方法

避難情報等の発令を解除する場合には、気象情報、水位情報をはじめ、現地の情報などを総合的に勘案し、危険性が軽減された場合に解除する。

洪水予報河川 紀の川

河川水位が 6.00m以下に下がり、再度上昇のおそれがないとき。

住宅地での浸水が解消し、道路の冠水が解消して、再度浸水の恐れがないとき。

水位周知河川 紀の川水系古戸川

河川水位が 2.50m以下に下がり、再度上昇のおそれがないとき。

住宅地での浸水が解消し、道路の冠水が解消して、再度浸水の恐れがないとき。

樋門 山崎樋門

紀の川水位が 4.00m以下に下がり、再度上昇のおそれがないとき。

住宅地での浸水が解消し、道路の冠水が解消して、再度浸水の恐れがないとき。

第2編 土砂災害

1 対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所等

(1) 土砂災害の発生のおそれのある溪流や斜面の数（岩出市地域防災計画 資料編 参照）

- ①土石流危険溪流 38箇所
- ②急傾斜地崩壊危険箇所 55箇所
- ③山地災害危険箇所(山腹崩壊危険地区) 33箇所
- ④山地災害危険箇所(崩壊土砂流危険地区) 41箇所

(2) 土砂災害の発生のおそれのある溪流や斜面の分布

土砂災害の発生のおそれのある溪流等は、市の北部を連なる和泉山脈や、南部の御茶屋御殿山に集中している。

(3) 警戒すべき区間・箇所

岩出市防災マニュアルを参照

2 避難すべき区域

避難情報等の対象とする「避難すべき区域」は、次表のとおりであるが、この運用にあたっては、以下の事項に留意する。

- ・「避難すべき区域」は、土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所などであるが、自然現象のため不測の事態も想定されるため、事態の進行や状況に応じて、避難情報等の発令区域を適切に判断すること。

避難区域 (避難情報等の発令単位)	対象地区 (土石流災害危険箇所単位)	災害の様相	備 考
岩出市境谷	境谷地区	がけ崩れ、土石流	集落全体
岩出市押川	押川地区	がけ崩れ、土石流	集落全体
岩出市北東部	東坂本地区	がけ崩れ、土石流	一部警戒区域あり
	新田広芝地区	土石流	一部警戒区域あり
	今畑地区	がけ崩れ	一部警戒区域あり
	北大池地区	土石流	一部警戒区域あり
	山田地区	土石流	一部警戒区域あり
	桜台地区	がけ崩れ	一部警戒区域あり
	根来地区	がけ崩れ、土石流	一部警戒区域あり
岩出市北西部	根来地区	土石流	一部警戒区域あり
	安上地区	がけ崩れ、土石流	一部警戒区域あり
	西安上地区	がけ崩れ	一部警戒区域あり
	紀泉台地区	がけ崩れ、土石流	一部警戒区域あり
	相谷地区	がけ崩れ、土石流	一部警戒区域あり
	山地区	がけ崩れ、土石流	一部警戒区域あり
岩出市南東部	山崎地区	がけ崩れ、土石流	一部警戒区域あり

3 避難情報等の発令の判断基準

(1) 判断基準

避難情報等の発令判断基準(具体的な考え方)は次表のとおりであるが、この運用にあたっては、以下の事項に留意する。

- ・ 重要な情報については、情報を発表した気象官署、砂防関係機関等の中で相互に情報交換すること。
- ・ 想定を超える規模の災害が発生することや、想定外の事象が発生することもあることから関係機関との情報交換を密に行いつつ、降雨の状況や前兆現象が発生していないか等、広域的な状況把握に努めること。
- ・ 土砂災害の前兆現象等、巡視等により市が収集する現地情報、レーダー観測でとらえた強い雨の地域、避難行動の難易度(夜間や暴風の中での避難)等、必ずしも数値等で明確にできないものも考慮しつつ、総合的な判断を行うこと。

◇土砂災害

区分	土砂災害	
対象地区	岩出市境谷地区、押川地区、北東部、北西部、南東部	
判断のタイミング	日中	夜間
高齢者等避難 【警戒レベル3】	<ul style="list-style-type: none"> ①レベル3土砂災害警報(警戒レベル3相当情報[土砂災害])が発表された場合 ②土砂キキクルで「警戒(赤)」(警戒レベル3相当情報[土砂災害])が出現した場合 ③レベル3土砂災害警報(警戒レベル3相当情報[土砂災害])が発表され、土砂災害の前兆現象(軽微なもの)が認められる場合 	<ul style="list-style-type: none"> ①24時間雨量で200mm以上の降雨が予想される場合 ②レベル3土砂災害警報(警戒レベル3相当情報[土砂災害])が発表された場合 ③土砂キキクルで「警戒(赤)」(警戒レベル3相当情報[土砂災害])が出現した場合 ④レベル3土砂災害警報(警戒レベル3相当情報[土砂災害])が発表され、土砂災害の前兆現象(軽微なもの)が認められる場合 ⑤時系列情報において、夜間から明け方に土砂災害の「警戒」以上(警戒レベル3相当以上の発表)が予想され、累積雨量も含め、今後、雨量が400mmを超過すると見込まれる場合
避難指示 【警戒レベル4】	<ul style="list-style-type: none"> ①レベル4土砂災害危険警報(警戒レベル4相当情報[土砂災害])が発表された場合 ②土砂キキクルで「危険(紫)」(警戒レベル4相当情報[土砂災害])が出現した場合 ③国若しくは県から土砂災害緊急情報が発表された場合 ④土砂災害の前兆現象が認められる場合(住民の通報、職員による覚知) ⑤近隣で前兆現象(山鳴り、湧き水・地下水の濁り、溪流の水量の変化等)が発見された場合 	<ul style="list-style-type: none"> ①累積雨量も含め、今後、雨量が400mmを超過することが予想される場合 ②レベル4土砂災害危険警報(警戒レベル4相当情報[土砂災害])が発表された場合 ③土砂キキクルで「危険(紫)」(警戒レベル4相当情報[土砂災害])が出現した場合 ④国若しくは県から土砂災害緊急情報が発表された場合 ⑤土砂災害の前兆現象が認められる場合(住民の通報、職員による覚知) ⑥近隣で前兆現象(山鳴り、湧き水・地下水の濁り、溪流の水量の変化等)が発見された場合 ⑦時系列情報において、夜間から明け方に土砂災害の「危険」以上(警戒レベル4相当以上の発表)が予想され、過去に土砂災害が発生したときの雨量(最大値)に近づく可能性がある場合
緊急安全確保 【警戒レベル5】	<ul style="list-style-type: none"> ①レベル5土砂災害特別警報(警戒レベル5相当情報[土砂災害])が発表された場合 ②土砂キキクルで「災害切迫(黒)」(警戒レベル5相当情報[土砂災害])が出現した場合 ③近隣で土砂災害が発生した場合 	<ul style="list-style-type: none"> ①レベル5土砂災害特別警報(警戒レベル5相当情報[土砂災害])が発表された場合 ②土砂キキクルで「災害切迫(黒)」(警戒レベル5相当情報[土砂災害])が出現した場合 ③近隣で土砂災害が発生した場合

注1) 累積雨量とは、警報が発表され解除されるまでの現象に係る降り始めからの雨量とする。

(2) 避難情報等の発令に関する基本的な考え方

- ア 被害が発生する前の段階に避難情報等を発令できるよう、気象情報等を分析した予測ベースの発令を実施すること。
- イ 予測ベースの発令により空振りをおそれない避難情報等の発令を実施すること。
- ウ 特に土砂災害が発生した場合や前兆現象が確認された場合は、直ちに発令すること。
- エ 危険の高まりが夜間になるため、避難が夜間になりそうな場合には、予測ベースで明るいうちに避難情報等の発令を実施すること。
- オ 夜間になる前に避難情報等を発令するための具体的な事項
 - 少なくとも16時頃までに今後の状況を確認し、夜間に避難情報等の発令する必要がある場合に備え、事前に避難情報等を発令すること。

(3) 発令にあたっての留意点

- ア 特別警報が発表された場合には、警報の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいと考えられることから、市内における降雨状況や現地の状況等を総合的に判断し、状況によっては高齢者等避難、避難指示の発令を視野に入れた対応を行うこと。また、暴風の中では避難できなくなるおそれがあるので、暴風警報や特に暴風特別警報が発表された場合には、判断基準に該当しない場合でも避難情報等の発令を前倒しにするなど検討を行うこと。
- イ 自然現象のため、不測の事態等も想定されることから、避難行動は、計画された避難所等に避難することが必ずしも適切ではなく、生命を守る最低限の行動として、自宅の2階の斜面のとは反対側の可能な限り上層階の部屋や近くの建物（鉄筋コンクリート造等の比較的堅固な構造物）の高層階に避難することもありうること。
- ウ 判断基準に基づき、避難情報等を発令するが、自然現象を対象とするため、想定以上又は想定外の事態も発生しうるので、総合的な判断を行うものとする。

4 総合的な判断方法

(1) 岩出市境谷、押川

ア 判断方法

地域全体が土砂災害の危険性が高いため、気象情報、土砂災害情報だけでなく、現地情報、前兆現象等、総合的に考慮し、避難情報等を発令する。

また、避難路についても土砂災害の危険性が高いため、気象官署、砂防関係機関等と連携を密にし、判断を行うとともに、暴風、夜間、道路等の冠水等を総合的に考慮し、避難行動等が危険な状態になったときは、自宅内等の高所への避難(災害対策基本法第60条第3項の規定による屋内での待避等の安全確保措置を含む。)を指示する。ただし、垂直避難等は鉄筋コンクリート造りの2階建て以上の建物に限り、最終的な状況での避難指示とする。

なお、当該地区は土砂災害が発生した場合、孤立集落となる可能性が高いため、他地区よりも判断基準を厳格に運用し、早期の避難情報等の発令を行う。

イ 地区別の避難路等の状況

避難路についても土砂災害の危険性が高いため、避難行動にあたっては十二分に注意する。また、状況に応じて泉南方面への避難も検討する。

地区名	避難先	道路の浸水等の可能性
境谷地区	サンホール	土砂災害により道路が通行できない可能性がある。
押川地区	根来地区公民館	土砂災害により道路が通行できない可能性がある。

(2) 岩出市北東部、北西部及び南東部

ア 判断方法

山地周辺地域は土砂災害の危険性が高いため、気象情報、土砂災害情報だけでなく、現地情報、前兆現象等、総合的に考慮し、避難情報等を発令する。

また、夜間に避難指示の基準に達するおそれのあるときは、日没までに高齢者等避難(時系列情報において、夜間から明け方に土砂災害の「危険」以上(警戒レベル4相当以上の発表)が予想され、過去に土砂災害が発生したときの雨量(最大値)に近づく可能性がある場合は、避難指示の発令も視野に入れる。)の発令を行うとともに、暴風、夜間、道路等の冠水等を総合的に考慮し、避難行動等が危険な状態になったときは、自宅内等の高所への避難(災害対策基本法第60条第3項の規定による屋内での待避等の安全確保措置を含む。)を指示する。ただし、垂直避難等は鉄筋コンクリート造りの2階建て以上の建物に限り、最終的な状況での避難指示とする。

イ 地区別の避難路等の状況

土砂災害の場合は、集落単位での避難となるため、一時避難所(風水害時避難所)だけでなく避難施設(中長期間避難所)も活用し、避難誘導を行う。

地区名	避難先	道路の浸水等の可能性
東坂本、新田広芝、今畑、北大池地区	上岩出コミュニティセンター(☆☆☆)、上岩出小学校(☆☆☆)	—
山田地区	岩出第二中学校(☆☆☆)	—
桜台地区	桜台地区公民館(☆☆☆)、根来小学校(☆☆☆)	—
根来、安上地区	根来小学校(☆☆☆)	—
西安上地区	山崎北小学校(☆☆☆)	—

地区名	避難先	道路の浸水等の可能性
紀泉台地区	紀泉台地区公民館(☆☆☆)、山崎北小学校(☆☆☆)	—
相谷、山地区	サンホール(☆☆☆)、山崎北小学校(☆☆☆)	—
山崎地区	船山地区公民館(☆☆☆)	—

5 判断に必要な気象情報等の種別及び活用方法

避難情報等を発令するにあたって必要となる気象情報等の種別及び活用方法については、次表のとおりである。

収集先		入手する情報の種類	活用方法
総合防災情報システム	総合防災情報システム 一斉指令受令端末	【風水害】 気象警報・注意報、気象解説情報、気象防災速報	気象警報・注意報の発表状況 今後の降雨の見込みを把握 現在までの降雨量を把握 地域的に気象情報を細かく把握 記録的短時間大雨の情報を収集 (110 mm/h)
気象庁	https://www.jma.go.jp/jma/index.html	【風水害】 気象警報・注意報、気象情報、雨雲の動き、解析雨量、今後の雨、キキクル(危険度分布)、台風情報、気象衛星画像、天気図 等	今後の降雨の見込みを把握 現在までの降雨量を把握 台風の今後の予報を把握 地域的に気象情報を細かく把握
		【その他】 気温 等	その他の気象状況を把握
		【天気予報等】 天気予報、週間天気予報、早期天候情報、天気分布予報、地域時系列予報、早期注意情報(警報級の可能性) 等	その他の気象状況を把握
和歌山地方気象台	災害時ホットライン 常時オンライン気象解説	今後の見込み情報等(降雨量等)	今後の降雨の見込みを把握
国土交通省	http://www.river.go.jp	川の防災情報(雨量 等)	ゲリラ豪雨等の状況を把握
和歌山県河川/雨量防災情報	http://kasensabo02.pref.wakayama.lg.jp/	観測情報(雨量・水位観測所情報・ダム情報)、レーダ、警報/注意報、土砂災害メッシュ(土砂災害警戒判定分布図、土砂災害警戒避難判定図) 等	現在までの降雨量を把握 土砂災害警戒避難判定図(スネークライン)の状況を把握
和歌山県防災気象情報	https://www.micosweb.jp/web/wakayama08/	【風水害】 警報・注意報、台風情報、降雨予測、予報メッシュ、ポイント予測、アメダス、全国アメダス	今後の降雨の見込みを把握 台風の今後の予報を把握 地域的に気象情報を細かく把握
		【天気予報等】 地上実況、気象衛星画像、天気図、週間天気図、天気予報、文書情報	今後の降雨状況を把握 その他気象情報を把握

その他の情報

地区名等	情報収集方法
岩出市境谷地区、押川地区	消防団及び自主防災組織等からの現地情報、前兆現象等の連絡を受ける。
岩出市北東部	消防団及び自主防災組織等による現地情報、前兆現象等の連絡を受ける。 職員による現地情報、前兆現象等の収集のためのパトロールを実施する。
岩出市北西部	消防団及び自主防災組織等による現地情報、前兆現象等の連絡を受ける。 職員による現地情報、前兆現象等の収集のためのパトロールを実施する。
岩出市南東部	消防団及び自主防災組織等による現地情報、前兆現象等の連絡を受ける。 職員による現地情報、前兆現象等の収集のためのパトロールを実施する。

6 避難情報等の伝達方法

避難情報等の伝達は、災害の規模や種類などで伝達すべき地域や時間帯等を考慮し、防災行政無線(市内放送)等で市民への伝達を行うが、防災行政無線以外での伝達方法として、メール配信サービス、防災行政無線電話応答サービス、市ウェブサイト、地デジデータ放送、広報車での広報及び報道機関への放送要請などを行う。

また、伝達には、状況に応じ次の伝達文例を用いることとする。

【警戒レベル3】〈高齢者等避難〉

こちらは、(防災)岩出市(災害対策本部)です。

土砂災害の兆候があるため、「警戒レベル3 高齢者等避難」を発令しました。

対象地域は〇〇地区(、〇△地区、〇×地区及び△×地区)です。

土砂災害警戒区域内や周辺の高齢の方や、避難に時間がかかる方は、次の避難所をはじめ、安全が確保できる場所へ、避難を始めてください。

それ以外の方も、避難の準備を整えるなどの、災害に備える行動をお願いします。

開設している避難場所は、次のとおりです。

〇〇地区公民館・・・

【警戒レベル4】〈避難指示〉

こちらは、(防災)岩出市(災害対策本部)です。

土砂災害による重大な被害の危険性があるため、「警戒レベル4 避難指示」を発令しました。

対象地域は〇〇地区(、〇△地区、〇×地区及び△×地区)です。

土砂災害警戒区域内や周辺の方は、全員、次の避難所をはじめ、安全が確保できる場所に、至急、避難してください。

また、避難が危険な場合は、少しでも崖から離れた建物や、自宅内の部屋に移動するなど、身の安全を確保してください。

開設している避難場所は、次のとおりです。

〇〇地区公民館・・・

【警戒レベル5】〈緊急安全確保〉

こちらは、(防災)岩出市(災害対策本部)です！

〇〇地区で土砂災害が発生したため、「警戒レベル5 緊急安全確保」を発令しました！

対象地区は山裾付近で土砂災害の危険性がある〇〇地区(、〇△地区、〇×地区及び△×地区)です！

命の危険が迫っています！

少しでも崖から離れた建物や、自宅内の部屋に移動するなど、身の安全を確保してください！

〈避難情報等解除〉

こちらは、(防災)岩出市(災害対策本部)です。

〇〇地区(、〇△地区、〇×地区及び△×地区)に対して発令しておりました(高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保)は解除しました。

その他

※合成音声でない市内放送及び広報車の場合

「避難指示」「緊急安全確保」の伝達を行う際は、切迫感を出すために、多少早口で放送する。

7 解除の方法

避難情報等の発令を解除する場合には、気象情報をはじめ、現地の情報などを総合的に勘案し、危険性が軽減された場合に解除する。

岩出市境谷地区・押川地区

レベル4土砂災害危険警報が解除され、土石流やがけ崩れのおそれのないことを現地の巡視により、確認した後解除する。

岩出市北東部・北西部・南東部

レベル4土砂災害危険警報が解除され、土石流やがけ崩れのおそれのないとき解除する。